＜2009年(平成21年)3月15日発行　第31号＞

ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

回転寿司とミスタードーナツへ外食に!!

▲ お寿司をパクリ！

入所者の自治会から「お寿司を食べに行きたい」という要望が上がり、大矢施設長と入所者さんが一緒に、2月19日に回転寿司ツアーに行って来ました。

かねてからの要望が実現してみなさんウキウキ気分です。

「回転寿司は久しぶり」という福島豊子さん。

「実家近くの寿司屋よりおいしい」

と大喜びの勝楽夫妻。

▲ お寿司を食べたよ、満腹です

みなさんマグロ、いくら、鯛、サーモン…、と次から次へと注文して、気がついたら、6皿、7皿と皿が積み重なっていました。

入所者の中で最高の10皿を食べ尽くしたのは勝楽進さんです。これにはびっくりしました。

みなさん満足そうに「おいしかった～」と喜ばれ、「また行きたい！」と口々に言っておられました。

それから、「お茶に行きたい！」と黒崎時安さんの希望で、みんなでミスタードーナツへ行きました。

谷妙子さんは、「こんなところに来るのは初めて！」と目を丸くされていました。

たくさん並ぶドーナツをながめて、「(留守番の旦那様に)お土産を買おう」と熱心に選んでおられました。

▲ おしゃれにコーヒーブレイク

みんなでコーヒーを飲みながらおしゃべりを楽しみました。ほのぼのとした温かい時間を過ごせました。

今後も、他の入所者さんも一緒になって、おいしいものを食べに行きたいと思います。

（調理：岩林寛子）

～ひな祭り～

▲ひな檀と一緒に記念撮影

2月の末に、3月3日のひな祭りに備えて、ひな壇の飾り付けをしました。

今回は柳学園高校の生徒さんのボランティア協力も頂いて、立派なひな壇が施設内に3つもできあがりました。

ひな壇を見て、入所者さんはみなさん「きれい、きれい」と大変喜んでくれました。

そして、3月3日にはひな祭りを兼ねてお誕生日会が開かれました。

お目当ての昼食には、おひな様をかたどったかわいくておいしいお寿司がふるまわれ、入所者のみなさんはのんびりと楽しいひな祭りを過ごされました。

（介護：角村）

▲お内裏様とおひな様

お知らせ

「梅は咲いたか、桜はまだかいな～」まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春の気配が感じられる今日この頃です。ふくろうの郷の梅の木も花を咲かせています。桜の開花が待ち遠しいですね！

入所者紹介～今川エイさん～

▲おちゃめな今川さん

川ユニットで生活されている今川エイさんを紹介します。

大正12年6月11日生まれの85歳です。北陸で生まれ育ち、田舎の故郷は山・谷・田んぼと壮大な自然に囲まれて、夏は川で泳ぎ、橋の上から飛び降りたり、冬はスキーをしたりと楽しまれていたそうです。

9歳の時、お兄さんが新聞に聾学校入学者募集の記事が載っているのを見つけ、富山県立聾学校へ入学しました。

当時の聾学校は入学者が少なく、エイさんが初めての生徒だったようです。寄宿舎で生活をしながら学校へ通っていましたが、特にホームシックになる事はなかったとのことです。

聾学校卒業後は結婚をし、神戸へ引っ越してきました。得意のミシンで仕立業（洋裁）をしながら2人のお子さんを育て頑張ってこられました。

お孫さんの浴衣を仕立てたり、ご自身のワンピースを作製したりと和裁・洋裁が大好きなようです。

ふくろうの郷での生活の中でも「ミシンありませんか」「縫い物ありませんか」などお話されることがよくあります。

目が見えにくくなり、1人で作製するのが難しいかもしれませんが、これからも仲間と一緒に作業やレクリエーションを通して作品作りなどをしたいと思っています。

（介護：園部）

娘さんとお孫さんと今川さん

～リハレク～

▲みんな一緒に風船バレー

リハレクは月2回看護師が主になって、楽しみながら体を動かして元気になろう！と入所者に呼び掛けて実施しているものです。

「リハ」はリハビリ、「レク」はレクリエーション（余暇）のことです。

1月29日（木）には、風船バレーとボールをかごに入れる玉入れをしました。

松田昌巳さんは右手が不自由ですが、左手で懸命にボールをかごに入れようとし、その姿を見て、魚住登喜男さんは「がんばれ、がんばれ」と一所懸命励ましていました。

看護師は「集団になって楽しめた。たくさんの入所者が参加してくれてよかった。これからも続けていきたい」と話してくれました。

（介護：角村）

▲みんな一緒にボールゲーム

はじめまして

2月に入所されました、日外（あぐい）きくさん(89)です。

【退所される方】

湯浅　キヨコさん(82)
昭和2年3月31日

残念ながら病院での長期入院となり、退所することになりました。

3月お誕生日おめでとう！

吉田　みさ子さん(81)
昭和3年3月30日

花房　豊治さん(85)
大正13年3月5日

福島　豊子さん(79)
昭和5年3月2日

34年の歴史に幕 ～県立志知高校閉校～

県立志知高校が2月28日に閉校式を挙げました。34年のその歴史は、県立淡路三原高校に継承され、新たな発展を目指しています。

同校は、必修クラブ「だんじり唄」が伝統文化継承推進校に指定されたのをはじめ、23年間にわたるボランティア活動を福祉・人権教育に発展させてきたことでも有名です。

また、手話学習をはじめ、和太鼓部「翔（かける）」は毎年勇壮な響きで、「ふくろうふれ愛まつり」を盛り上げてくださっています。

▲「ふくろうふれ愛祭り」での和太鼓部「翔」

七〇〇人が出席した卒業式・閉校式には、大矢、卒業生の田中愛里生活援助員、手話学習の特別非常勤講師の平松弘子さん、伊達美紀さん、斉藤よし子さんも招かれ、新たな門出を励ましました。

（施設長：大矢暹）

カイロプラクティック

毎月1回、カイロプラクティックの酒井先生をお招きし、入所者に体験してもらっています。

カイロプラクティックとは、アメリカの整体技術で、骨の矯正やゆがみを直すものです。

▲気持ちいいです、と勝楽さん。

介護報酬本体の引き上げを

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
施設長　大矢暹

三月四日の衆議院本会議で、3分の2の賛成多数により再決議され、総額2兆円の「定額給付金」の支給が決まりました。世論調査で、「定額給付金を評価しない」が、毎日新聞では73％、読売新聞では74．7％と、圧倒的な国民が反対しています。

一回きりのバラマキで消費拡大・生活対策につながるでしょうか。

公金を使った選挙買収だという声も大きく、そうではなくて、本当に困っている私たちのために集中的に使ってほしいと思います。

四月から介護保険報酬が3％引き上げられますが、報酬本体の引き上げでなく加算方式のため、例えば、入所者の割合が要介護度4～5が65％を占め、かつ、介護福祉士が入所者6人に対して1人確保しないと加算はつきません。

ふくろうの郷では、職員の労働条件の改善を含む予算編成に当たっていますが容易ではありません。

介護保険報酬の本体5％の引き上げを強く求めます。

理事リレーエッセイ～ふくろうの郷から～

福島豊子さんは毎回参加されています。普段から活発に行動される方ですが、先生によると、「よくこっている」とのことでした。福島さんは「肩が軽くなった、腕がよく上がる」と上機嫌でした。

酒井先生は「みなさん喜んでくれるのがうれしく、それがやりがいです。ふくろうに来させていただいて1年になりますが、最初はみなさん怖がっていました。今では慣れてきて、リラックスして受け入れてくれていると思います。ありがたいです」とおっしゃっていました。

（介護：角村）

《訃報》

中野チサヱさん（享年80歳）

平成21年3月9日逝去

中野さんは平成18年4月5日に入所されました。中野さんの生まれは鹿児島県の曽瓦島。盲ろう者ですが、手話も独特のその表現でした。

手が目の代わりであり、敏感でしたので、握手すると、その人は誰かが分かる様でした。

ふくろうの郷での生活に慣れてきて、外出されたり、ふくろう大学の書道講座に参加されたりしていましたが、昨年8月半ばから容態が悪化し、入退院を繰り返していました。

最期までふくろうの郷で生活を送りたいという、ご本人とご家族の希望を受け入れて、職員が連携しながらターミナルケアに努めました。

そして、ご家族、お兄さんの手を握りながら息を引き取られました。ご冥福をお祈りいたします。

地域を語る
第3回 中川原の「だんじり」について

中川原の春祭りは例年4月10日の「金比羅さんの日」とされています。

このお祭りには、祭礼団のみなさんによって「だんじり」や「獅子舞」が「金比羅大権現」に奉納されています。

最近人手が少なくなってきたことから、10日までのいちばん近い日曜日に行われています。

今回は「淡路ふくろうの郷」のパンフレットの表紙を飾り、お祭りには表敬訪問して交流を深めています「だんじり」について紹介します。

明治以前からありましたが、古くなってきたことから昭和5年(一九三〇)、新調の話がまとまり、お金やお米を毎年出し合って積み立てて昭和17年(一九四二)、10月25日現在のだんじりが新調され、ご披露されました。

この年は、稲は不作でしたが不景気も吹き飛び、

▽祝酒＝二石二斗二升
▽酒肴料＝百九十円（酒一升73銭）

集まるという盛況でした。

だんじり新調費用＝三九〇〇円、玄米＝百八十石（当時一石・百五十キログラム・22円）、

▽製作者＝津名郡志築町（現淡路市）柏木福平
▽新調委員長部落総代＝小森与三郎
▽同副総代＝高田正一
▽同委員福井文作氏ら20人となっています。（省略）

※参考資料
「地方史の新研究」
淡路ふくろうの郷
地域交流会会長
北岡　肇

地域の手作り竹細工

▲ひとつひとつ手作りの秀作です

地域交流会の北岡さんと神代さんが、竹で作ったきれいな花生けをふくろうの郷に寄付くださいました。1個百円で販売させていただいたところ、瞬く間に売れ大好評です。

みなさまもぜひ、ふくろうの郷にお立ち寄りになりご覧になってください。

～記念植樹～

▲立派な「しだれ桜」

当施設への入所が決まっていながら、残念にもお亡くなりになられました市谷脇子さん(享年81才)から「しだれ桜」と「けんぱく」の寄付があり、施設内に植樹が行われました。

市谷さんはショートステイを定期的に利用されており、「この施設に是非入所したい」と入所を熱望されていました。

市谷さんのご冥福をお祈りするとともに、感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

第4回ふくろう学習会のおしらせ

「私の人生とふくろうの郷（仮）」

講　師　北岡　肇氏
と　き　3月28日（土）
　　3時30分～5時
場　所　淡路ふくろうの郷
　　地域交流スペース
参加費　500円

詳細については、淡路ふくろうの郷までお問い合わせください。

どなたでもご参加できますのでよろしくお願いいたします。

ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所の方々と一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時：3月22日(日)
13:00～15:00

メニュー

・コーヒー・ココア・紅茶・ホットカルピス　…1杯￥200
・たまねぎスープ　…1杯￥200
・お菓子　…1個￥100
【季節限定】・生姜湯・あめゆ　…1杯￥100

毎月1回開きますので、ぜひお越し下さい。
4月以降の開催日は、追ってお知らせいたします

※喫茶のボランティアを募集しています。
ご協力、お願い致します。

（介護：湯野）